

渡航費・輸送費カンパにご協力をお願いします。

渡航期間：09年7月～9月の間に1～2週間程度を予定
 渡航予定者：今川夏他数名

皆様からいただいた支援金(カレンダーやグッズの売り上げ、サポーターの会費)は渡航費には使いません。これは2002年の当初から決めていたことです。ですが、正直安い金額ではありません。現地からの要望により事前に購入していくものもあり、荷物を運ぶだけでも費用がかかります。個人的な負担が大きく、帰国後の継続的な活動をささえるためにも、毎回カンパをお願いをすることにしています。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

■カンパおよび支援金の振込先
 ※1口3,000円 ※通信欄に渡航費カンパとご明記ください。郵便振替00160-8-352345
 特定非営利活動法人みんなの夢の音楽隊
 ※カンパは次回募集開始まで受け付けます。

■今回の渡航の目的
 ①アフガニスタンでの活動を継続し、それを日本のサポーター、および一般の人々に

伝えるための情報収集・取材活動。
 ②2009年版カレンダーの支援金(約220万円)を現地に届ける。
 ③サポーターの会費を現地に届ける。
 ④2010年版カレンダーの取材。
 ⑤要請・支援物資等を現地に届ける。
 ⑥現地関係各機関との関係作り。
 ⑦上記の目的を果たすために必要な経費(人件費を除く)を捻出する。
 ※治安情勢など総合的に判断し、適宜中止、延期、緊急帰国等の措置をとる。

■渡航予定者から
 今回の渡航は現地との調整の上で検討期間を長く設定し、その期間中に短期間の滞在ですべての予定を完了させようと考えています。2006年の来日公演以来、私たちとアフガニスタン側の友好関係は劇的に変化しました。アフガニスタン側からは、日本の子どもたちに、もっとMMCCに来てほしい。アフガニスタンに遊びに来てほしい!と言われます。戦争や紛争に関わらないことを宣言

している彼らにとっては、戦場となっている場所はむしろ遠い遠い場所であるかのようです。いつの日か、彼らの「遊びにおいでよ。」に、気軽に応えることができるようになってほしい。「一緒に遊びたい!」と言うアフガニスタンと日本の子どもたちの想いを、踏みこみに行っているのはいったい誰なんだろう。考えれば考えるほど悔しくてたまりません。ですが、私にはできることがあります。「お～いYUKI、次はいつ来るんだ!?早く来いよ!すっごい楽しい企画を考えてるんだ!」と言われたなら、「おいおいおいおい!!!おれが行くまで待ってろよ。すぐに行くから!」と、カバンひとつで出かけていくことです。着替えも歯ブラシも全部置いてあるので。カバンの中身は???それは日本のみんなから預かった、大切なお金です。このお金で、アフガニスタンに戦争をしない子どもたちを増やすのです。それができるのは戦争をしない大人達。私も戦争をしない大人のひとりです。日本人は、戦争をしません。子どもに戦争をさせません。(今川夏他)

サポーターを募集しています!

会費は1口300円/月です。全額がアフガニスタンMMCCに送金され、現地の活動に役立てられます。サポーターには、年4回、現地の様子を伝える「MMCCニュース」をお届けします。また、カレンダーやポストカードといったサポート

あなたもサポーターになりませんか!?

グッズのご紹介や、関連イベントのご案内も一緒にお届けいたします。ニュースの発行や、送金手数料、郵送料は「みんなの夢の音楽隊」が負担しています。

みんなの夢の音楽隊は、内部活動グループとしてのJAPAN-MMCCを継続し、これからもアフガニスタンの子どもたちとの交流や、活動の連携を続けていきます。アフガニスタンの治安状況は悪化の一途をたどり、日本で見聞きすることはどれも残念なニュースばかりです。しかし、子どもたちの役割は、戦争に参加することではありません。戦争をやめさせることは大人たちの役目です。子どもたちは、将来の世界を楽しいものにするた

めに、今を大切に楽しむことが仕事です。そして、その楽しさを、よりたくさん子どもたちと共有することが、彼らの役割です。そんな子どもたちをサポートすることが、MMCCをはじめ、みんなの夢の音楽隊の役目だと思います。今後とも、みなさまのご支援・ご協力・ご声援♪どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事長：今川夏他



MMCCニュースの配布先を紹介してください。MMCCニュースの配布先を紹介してください。このニュースを、会員の方だけでなく広く一般のみなさまに読んでいただき、この活動を支える仲間をひとりでも多く増やしていきたいと考えています。ご親戚や、お友達に紹介したいという場合や、イベントで配布したいという場合でも、お気軽に事務局にお問い合わせください。

NPO法人みんなの夢の音楽隊 会員募集中

NPO法人みんなの夢の音楽隊は、会員の皆様の会費によって運営されています。私たちの活動に賛同し、協力して下さるメンバーを募集しています!

- 正会員 年会費 1口 10,000円 毎月1回ニュースをお届けします。活動を支えてください♪
 - 賛助会員 年会費 1口 3,000円 毎月1回ニュースをお届けします。
 - 団体賛助会員 年会費 1口 10,000円 共同企画事業を行います。会員割引の適用が受けられます。
 - MMCCサポーター 月会費 1口 寄付300円 年4回 MMCC ニュースをお届けします。※全額現地送金。
- ※メールアドレス 1アカウント 3,150円/年
 お問い合わせ TEL 048-783-5771 FAX 048-783-5772 info@yumeuta.com
 郵便振替 00160-8-352345 特定非営利活動法人みんなの夢の音楽隊

MMCCニュースに関する感想・アイデア・ご意見をお寄せください。お待ちしております。

特定非営利活動法人 みんなの夢の音楽隊
 〒330-0053 さいたま市浦和区前地 2-11-2
 TEL 048-783-5771 FAX 048-783-5772
 発行人 JAPAN-MMCC 代表：今川夏他
 年4回発行(2月5月8月11月)
 2009年2月15日 (Vol.8&9)

あなたが支える子どもから、子どもたちへ“夢”と“笑い”と“教育”を届ける!

今回支援金 220万円 5年間総額 940万円 アフガニスタンチャリティカレンダー 2009



2008年10月発売の、2009年版アフガニスタンチャリティカレンダーは、各共同制作グループのみなさんを中心に、各地のイベントやコンサート会場などで販売されました。毎年恒例となっているイベントなどでは、わざわざこのカレンダーを買いに来てくれる方も現れ、継続的な支援となりつつあります。また、今回から制作した卓上型のカレンダーもとても好評でした。制作コストに対して価格が安いため、収益減が懸念されていましたが、壁掛け型と卓上型をセットで購入していただける方が多く、最終的には5900部を販売し219万9868円の支援金を集めることができました。送金総額はこの5年間で約940万円になりました。みなさまのご協力、本当にありがとうございました。これからも応援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

販売先・出店先のご提供、ありがとうございました。



▲新潟県越後湯沢で開催されたイベントでの販売コーナー



▲卓上型カレンダーは、国内版の他に海外版も制作され、各地に送られました

新たな拠点作り

2002年にカブール、2008年にバーミヤン。MMCCが新拠点を建設する際は、小さなテナから始まるのが通例です。カブールのカルチャーセンターは、毎年隣接する土地を借り上げ、一度に500人を収容できるほどの大きさになっています。しかし、当初は長期間借りられる予定でいた中央の土地も、オーナーのやむを得ない事情により、借用期限が設定されてしまいました。継続利用を相談しながらも、新しい拠点も同時に探していかなければなりません。そんななかで、現在のカルチャーセンターからそれほど遠くない場所に、使われていない倉庫のような建物を使うことができるようになりました。詳細については、今後の現地調査も含め、次



▲新たな拠点となった建物
 号以降でお知らせ致します。修繕及び移転費用がどれほどになるかもわかりませんが、今後とも応援をどうぞよろしくお願い致します。

小さなファリヤが

2006年にMMCCを訪れたとき、ちびっ子クラスの中に、一際小さな女の子がいた。見た目からすると3、4歳くらい。笑顔がとってもかわいい女の子だった。あれから3年。その小さなファリヤが、4つのクラブをできるようになった！小さな体で大きな4つのクラブを巧みに操るのだ！ファリヤのお兄ちゃん(アンソル)、お姉ちゃんもMMCCに通っている。きっと、カッコいいお兄ちゃんやお姉ちゃんを見て、一生懸命練習をが

んばったんだろう。お兄ちゃん達みたいにやってみたい！そんな強い気持ちで、普通だったらとても難しい4つのクラブをできるようになることさせたのだろう。そして、4つのクラブが出来ようになった頃、ファリヤは初めて歯が抜けた。アフガニスタンでは、歯が抜けるということは、学校へ行ってもいい年になったよ！という証。この春から、ファリヤは学校へ通うことになる。おめでとうファリヤ！そんなファリヤは今年、MMCCの仲間達と一緒に、カブール市内にある小学校で学ぶ3,000人以上の子どもたちに、がんばった証のパフォーマ

ンスを届けたのでした♪



▲ファリヤ(自称6歳)学校へ通うのが今から楽しみで笑顔いっぱい♪

西へ東へ！移動ミニサーカス！！

2008年もアフガニスタンのあちこちへ、笑いとお教育がたくさん詰まった移動ミニサーカスを展開しました。カブールの外では、北、東、西、そしてアフガニスタンの中央部に住む15万人以上の子どもたちが、MMCCのパフォーマンスとワークショップを体験しました♪各州で行われた移動サーカスでは、地雷教育、障がい者教育、ヘルシーライフ(薬物や道徳)など、アフガニスタンの子どもたちにとって重要な教育内容を盛り込みました。



▲パフォーマンスを見つめる子ども達

アフガニスタンに拡がれ！MMCCの輪♪



▲バーミヤンのサーカスハウス

前号でもお伝えしたとおり、2008年5月、バーミヤンに新しいサーカスハウスができました！みんなで手作りで作ったコンテナのサーカスハウスは、今もバーミヤンMMCCの活動の拠点となっています。子どもたちが、子どもたちらしく思いっきり楽しめる場所。そんな場所を作るためにここバーミヤンMMCCは作られました。そして、

これはアフガニスタンのあちこちにMMCCを作る計画の第一歩でもあります。今後も、2009年春にはヘラート州(アフガニスタン西部)に、秋にはジャラバード、2010年春にはマザリシャリフにも、新しいMMCCの支部が設立される予定です。最初はそれぞれの地域に住む子どもたちのパフォーマンスのためのトレーニングに重点を置き、徐々にMMCCのアイデアや活動を学校や地域のコミュニティに普及していくのが目標です。



▲練習に励む子どもたち

三角はいくつある？



▲左からカリム・シェハーン・ユセフ

MMCCスタッフがなんだか変なポーズをしていますね。実はこれ、三角形を人間の体でいくつできるか試しているのです。これはスタッフのトレーニングの一環であり、ワークショップの準備でもあります。MMCCではこうしたスタッフのトレーニングやワークショップの準備がとても重要な時間とされ、この時間を通して新しいプログラムを考えたり、スタッフ自身の質の向上を図っています。

MMCCってなに？初めて聞いたよ？なにをやってるの？という方へ♪

日本のみなさん！初めまして！アフガニスタンMMCCです。わたしたちはアフガニスタンで設立されたNGOなので、海外に母体を持っていません。しかし、最初からのメンバーの中に、デンマーク人と日本人がいました。その後不思議な縁で、日本にたくさんのお友達ができました♪このニュースは、そんな日本にいるお友達が私たちの活動を紹介するために創ってくれたものです。せっかくなので読んでいただい

るので、少しでも私たちの活動を知ってもらい、もし、気に入ってくれたら私たちの活動を支えるサポーターになってくれませんか？ニュースを読んででもわからないこととか、もっと知りたいことがあったら、日本にいるお友達がなんでも聞いてください。遠いところにいるけど、私たちはいつも一緒に活動しています！！アフガニスタンでは大きく次の4つのプログラムを行っています♪

移動サーカス(モバイルサーカス)

アフガニスタンの地方の村々を回り、教育的な内容のパフォーマンスを行い、字が読めない子どもたちにも、平和教育、衛生教育、地雷回避教育といった生活に必要な知識を伝えています。※写真は「手を洗おう！」



宙返りから明るい未来へ！



▲バーミヤンの湿原で朝のトレーニングをする子どもたち。足下の芝は常に水を蓄え、天然のマットレスの役割を果たしている。失敗しても痛くない。なんとも優しい大地。

2007～2008年、MMCCはより多くの地域への拡大だけでなく、アクロバットにも力を入れてきました。“宙返りから明るい未来へ！”と名付けられたこのプログラムは、MMCCのスタッフ、そして子どもたちの努力によって成功を収めました。それによって、MMCCは、より高いレベルのサーカス学校プロジェクトをスタートしました。このサーカス学校は、今後3年以内にアフガニスタン国立サーカスチームとして、公式に認められることを目標としています。アフガニスタン版シルク・ドゥ・ソレイユ誕生も近い！？

このサーカス学校は、アクロバットプロジェクト成功のための責任者であり、来日公演でも責任者を務めたシャヒール先生が中心となって活動しています。子どもたちからの信頼も厚いシャヒール先生なら、きっと実現させることができるでしょう。そして、このサーカス学校の

誕生によって、もっと難しい事が出来るようになりたい！上を目指したい！そんな子どもたちの想いを実現させる事ができます。ぜひ、サーカス学校の



▲どんなに大変に見えることや難しい事だって問題ない！だって、僕たちの手は、いつかきっとそこに届くから！

ウィンタープログラム2009

アフガニスタンの冬の寒さはとても厳しい。その寒さ故に、冬の間学校はお休みになります。その冬休みの期間を使って、MMCCでは毎年ウィンター・プログラムを開催しています。

たくさんの新しい子どもたちがやってくるこの時期、MMCCの全ての力がこのプログラムに注がれます。12月から2月末までの3ヶ月間、350人の子どもたちがこのプログラムに参加しました。今年は昨年より9クラス増え、55の異なるクラスが開かれ、子どもたちは自分がやりたい4つのクラスを選んで参加しました。普段MMCCに通っ

ていない子にとって、たくさんの新しいことにチャレンジできるこの期間は楽しい！がいっぱいの時間です。そして、そんな楽しい！をスタッフと子どもたちが共有しあっているからこそ、楽しい！は2倍にも3倍にもなるのです。今年もそんな共同作業の中で、MMCCのウィンター・プログラムをみんなできよりよいものに創り上げていくことができました。



▲こんな絵を描いてみたよ！



▲ちびっ子達は文字の練習中



▲世界中に歌声を響かせよう

MMCC別館オープン！！

ウィンター・プログラムが始まるちょうどその頃、MMCCのカブールにあるセンター敷地内に新しく別館ができました！これはポーランド大使館から贈られた建物で、主に基礎学習の次の段階である、専門的な教育施設として建てられました。建物の中には6つの新

しい教室があり、これらの教室では、学校で学んだ科学や地理学、物理学などを、より深く専門的に学ぶことができます。ウィンター・プログラム、ティーチャートレーニングワークショップに加えて、この別館も新しいモデル・スクール・プロジェクトのひとつとなります。これらはMMCCの創造力豊かな教育方法を学校教育システムに結びつける事を目指しており、この春からスタートし、その成果はアフガン全土へと伝えられていくことでしょう。



▲夢中になって刺繍中

子ども・カルチャーセンター

15の教室を持ち、歌や絵画、サーカス、演劇、アクロバット、格闘技、英語、コーラン、手芸、工芸、文学などのクラスがある。それぞれのクラスで様々な知識や技を身につけ、自身の可能性をのばせるような様々な工夫がなされています。広い中庭では子ども達が自由に遊び回り、叩いたりどなったりする大人はいません。自由な空間は子ども達の創造性を高め、将来の可能性を広げていきます。

ワークショップ 実践！実感！実現！

実際に子どもたちの手で何かを創りあげる作業。人形劇や組体操など、かならずひとりではできない、みんなで協力し、助け合わなければならないことをやってみる。社会の中での役割を実感し、異なる部族同士でも助け合うことの大切さを学んでいます。

ティーチャートレーニング(教師養成)

長い戦争で教育インフラの85%が破壊されました。現在も、専門的な技術をもたず教科書をただ読んでいるだけの教師も多いのです。子どもを叩いたり、罵ったりすることも多く、教師の質が大きな問題になっています。子どもたちの興味を引き出したりオリジナルの教材作りは、MMCCの最も得意とする分野です。各地の教育委員会などで行っています。